

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ～10 時
祈 祷 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
00290-4-80707

3232 2026 年 10 月 25 日

礼 拝 式 順 序

(降誕前第9主日)

司式者	井 殿 準	
奏楽者	矢 野 香	
前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 96 : 1 ~ 3	司 式 者
讃 美 歌	1 9 「み栄え告げる歌は」	一 同
聖 書	使徒言行録 14 : 8 ~ 17 (新 P. 241)	司 式 者
使徒信条	(93-4-A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讃 美 歌	1 6 8 「天にいます神よ」(1~5節)	一 同
説 教	「道を誤らないために」	司 式 者
祈 禱		”
讃 美 歌	3 7 8 「栄光は主にあれ」	一 同
献 金		”
主の祈り	(93-5-A)	”
頌 栄	2 9 「天のみ民も」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～		
報 告		司 式 者
讃 美 歌	9 2 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「幸いな人とされて」

(マタイ 5 : 1 ~ 12)

主イエスは、「心の貧しい人々は、幸いである」と告げるが、「心が貧しい」とは、どういうことなのだろう？

美しい音色を聴く時、うっとりとして心が豊かにされた気持ちになるが、「心が豊かである」ことの反対が「心が貧しい」ということなら、嫌なことや悲しいこと、辛いことがあって、心がやせ細らされた状態が「心が貧しい」ということになろう。そのような人が「幸いである」「神が必ず慰めてくださる」と語られていると考えれば、「心の貧しい人々は、幸いである」ということにも納得が行く。

しかし、人は「貧しい心」しか持たないが故に、様々な罪を犯すのであって、幸いであるべきは「貧しい心」の人々ではなく、「豊かな心」「温かな心」を持った人々なのではないだろうか？

そのように考えて、3 節の言葉がなかなか腑に落ちなかった。「心の貧しい人々」とは、「心の低い人」「謙遜な心の人」のことと考えてみたり、最初に述べた心がやせ細らされた状態を「心が貧しい」と考えて、その人々のことを「神が必ず慰めてくださるから幸い」と受け止めて、納得していた時期もあったが、考えてみれば、貧しい心しか持たずに罪を犯してばかりの者が「天の国」に入れられるとは、聖書が繰り返し告げているまさに福音の良い知らせそのものなのではないだろうか？ 3 節の言葉は、「豊かな心」「温かな心」とは正反対の「乏しい心」「冷たい心」しか持たない者が「幸い」「天の国はその人たちのものである」という主イエスの宣言なのではないだろうか？

心の貧しさを嘆き、自らの罪深さにおののかずにはいられない我々である。しかし、十字架の上で血を流され、肉を裂かれた主イエス・キリストは、そのような我々に向かって、「あなたがた心の貧しい者は、幸いである」「安心して、私に従って来なさい」「天には大きな報いがある」と招いてくださる。この幸いを受けて、大いに喜びつつ、「柔和な人々」「憐れみ深い人々」「心の清い人々」「平和を実現する者」を目指して歩んで行こう。